

# 「イベント取材の夢が消えた後」(その10) 「第8回ライブ・エンターテインメント EXPO」「ヤマダデンキ LABI 渋谷店」

神谷 直亮

本稿の執筆を始めた3月5日夜に、東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県に発令中の新型コロナウイルス対策緊急事態宣言が3月21日まで再延長された。病床ひっ迫と新規陽性者数が下がり切れていないのが大きな理由だ。

衛星放送業界では、東北新社をめぐる総務省幹部接待問題がまだくすぶっている。NTTにも飛び火してしばらく収まりそうもない。

一方では、3月11日に「東日本大震災10年」という節目の年を迎え追悼行事が行われた。身の毛がよだつ2万2,200人もの死者や行方不明者を出した大震災である。新型コロナウイルスの影響で出席者を例年の4分の1に縮小したという追悼式における「被災した人々に永く寄り添っていくことが大切」という天皇陛下のお言葉が身に染みた。

巣ごもり期間中の2月24日から26日まで幕張メッセで「第8回ライブ・エンターテインメント EXPO」(主催:リード エグジビジョン ジャパン)が開催された。「イベント総合 EXPO」「地方創生 EXPO」「公共ITソリューション EXPO」「スポーツビジネス産業展」「トレーニング機器展」「自治体向けサービス EXPO」「スマートシティ推進 EXPO」を同時開催するというビッグイベントである。

会場では徹底した新型コロナウイルス対策を行っているとのことであったが、緊急

事態宣言中だったので筆者は赴くのを断念した。しかし、なんとか記録に残したいと思い、現場に足を運んだ元気な専門家からの生の情報と本誌2020年3月号に掲載された筆者の「第7回ライブ・エンターテインメント EXPO」をもとにレポートをまとめてみた。

まず、「第7回ライブ・エンターテインメント EXPO」と今回の「第8回」に関する現場の情報を比較してみると、映像センター、エルテック、DESAY インテリジェント・テクノロジー、Uniview LED、LianTronics、エレックスなど、はなやかなLEDディスプレイによる演出を売り物にしていた出展者や中国のLEDメーカーが軒並み出展を見送っている。唯一LEDディスプレイを駆使するステージ演出を実施したのは、クリエイティブ・スペース(本社:岐阜県羽島郡笠松町)であった。同社は、「イベント企画、演出、舞台、照明など、トータルコーディネートを行うプロ集団」を謳っており、低予算で大掛かりな舞台設営を実現するのが得意という。その一つは、木工製品ではなく再利用可能な軽量アルミフレームの使用、二つ目は自社保有のLEDビジョンの活用、三つ目は、独自の自動オペレーションシステムの導入である。今回は、これらの特色を生かしたマジックショーで会場を沸かせた。

今回の会場で注目を集めたのは、大型

LEDディスプレイによるライブ・エンターテインメントというより、「eSports ビジネスワールド」であった。このコーナーには、JCG、Wellplayed RIZeST、E5esports Works サードウェーブ、テクノブラッド、PLAYなどが出展した。昨年の会場で「e-Sports を映像化し、世界へ配信する」と大風呂敷を広げて気を吐いたスカパーSATが、今回出展を見送ったのが残念である。

「信頼・安心・夢中な場を提供する企業であり続ける」をモットーに掲げ、オンラインを中心としたe-Sportsの企画・運営のトータルソリューションを提供するJCG(本社:東京・品川区)は、ブースでミニセミナーを開催し、eスポーツ大会・eスポーツイベントに関する様々な事例を紹介した。中でも同社が主催する「Apex Legends 定期オンライン大会 FACE について」が注目を集めた。また、同社の松本順一 CEO は、セミナー会場で「地域から世界まで! eスポーツで実現するコミュニティ活性化の可能性」と題する特別講演を行っている。

「ゲームを超えて。ゲームをスポーツエンターテインメントに」をキャッチフレーズに掲げるRIZeSTは、2月1日にWellplayedと合併して、新会社を設立した。今回同社は、ウェルブレイド・ライゼスト社の旗の下で初出展し、eSports大会・イベントの制作運営、収録業務、ライ



写真1 「第8回ライブ・エンターテインメント EXPO」(主催:リード エグジビジョン ジャパン) が、2月24日から26日まで幕張メッセで開催された。(出典:live-event.jp)



写真2 クリエイティブ・スペースは、「イベント企画、演出、舞台、照明など、トータルコーディネートを行うプロ集団」を売り込んだ。(出典:ic-s.jp)

ブ配信、コミュニティサポートなど幅広いビジネスを展開する方針を鮮明にした。また秋葉原で eSports 専用の施設「eSports SQUARE」を運営している同社の強みを強調していた。

「e スポーツを新しい文化として育み発展させる」を旗印に掲げる Thirdwave Group は、一人でも eSports を楽しめる「LFS (ルフス) 池袋 Sports Arena」を設立している。ここで行われるイベント事業を担っているのが E5esports Works である。2018 年 3 月に設立されたばかりの子会社だが、eSports イベントの管理・運営のみならず eSports 関連コンテンツの映像制作も含め手広く事業をこなしているという。

テクノブラッドは、eSports の黎明期といえる 2002 年から「World Cyber Games Festival」や「Cyber Games Asia (東京ゲームショー内の eSports イベント)」にかかわってきた老舗と言える。また、インターネットカフェへのコンテンツ提供でも知られている。今回同社のブースでは、「Shadowverse Rampage Battle」「PUBG TechnoBlood CUP」「リーグ・オブ・レジェンド Technoblood CUP」などでの実績を強調していた。また、2021 年より国際 e スポーツ連盟の公認の下で「World Super League」を開催することになったという。

最後になったが、3 月 1 日に発表された「第 8 回ライブ・エンターテインメント EXPO」の来場者数は、速報値で 13,134 人とのことであった。また、「第 9 回は、2022 年 5 月 31 日から 6 月 2 日まで幕張メッセで開催する」と発表した。

巢ごもりばかりしてられないので、3 月 12 日に渋谷に向きヤマダデンキ LABI 渋谷店を覗いてみた。すっかり模様替えをしたテレビコーナーの目玉は、船井電機の有機 EL4K テレビとシャープの液晶 8K テレビであった。仲良く「FUNAI x YAMADA」を強調した有機 EL4K テレビには、「7030」「6030」の 2 シリーズがあり、それぞれ 65 インチと 55 インチ



写真3 JCGの松本順一CEOは、特別講演でeスポーツセミナー会場を盛り上げた。(出典:jcg.co.jp)



写真4 ウェルブレイド・ライゼットの強みは、秋葉原でSports専用の施設「eSports SQUARE」を運営している。(出典:e-sports-square.com)

をそろえていた。違いは、「7030」には、2TBのハードディスクが内蔵されており、4K番組を約132時間録画できるという。

シャープの液晶8Kテレビは、「AX1 80V」「CX1 70V」「CX1 60V」の3種がそろって並べられていて壮観であった。「8K4Kチューナー、8K倍速液晶、8Kアップコンバート」を謳った80インチ「AX1」には、1,345,455円の値札が付いていた。一方、70インチ「CX1」は、516,370円とのことであった。

ソニーのコーナーでは、85インチ4K HDRテレビ「X9500G」が目についた。価格は、思ったより安く500,000円であった。

ディスプレイコーナーには、LGエレクトロニクス製の「4K Ultra HDブルーレイディスクプレーヤー」が紹介されていた。言うまでもなくHDR10対応で「従来100nitに設定されていた最高輝度を1,000~10,000nitに高めることにより、実際の目で見えた感覚に近いコントラストと諧調表現を両立させた映像を再現できる」とPRに余念がなかった。

カメラのコーナーでは、間もなく3月19日から発売というソニーのミラーレス一眼カメラ「α1」の売り込みが行われていた。高画質、高速、高精度、有効画素数約5100万を誇る最上位機

種で、価格は約80万円とのことであった。

変わったところでは、「THETA」と「Oculus Quest 2」が目についた。リコーイメージングの「THETA」は、「Z1」「V」「SC2」の3種が売られていた。いずれもワンショットで360°丸ごと記録できる。有効画素数は、「Z1」が約2000万画素、「V」と「SC2」は約1200万画素である。内蔵メモリーは、「Z1」と「V」が約19GBで、「SC2」は約14GBとなっている。

フェイスブックの「Oculus Quest 2」は、完全ワイヤレスのオールインワンVR(拡張現実)ヘッドセットシステムである。超高速プロセッサと最高解像度のディスプレイを搭載した「301-00352-01」型ヘッドセットの価格は、33,800円(眼鏡スペーサー、Touchコントローラー2個、単三電池2本、充電ケーブル、電源アダプター付き)とのことであった。

**Noakira Kamiya**  
衛星システム総研 代表  
メディア・ジャーナリスト


**SWE DISH**

ニッサン新エルグランド4WD  
5名定員  
1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載  
車高2.2m以下(地下駐車場可)  
3.6 KVA NMG アイドリング運用  
水圧エコ・ポール4m 搭載  
強化サスペンション  
国内(100V)海外(240V)対応  
IPコントロール  
ハイビジョン映像伝送  
運転席からワンマンオペレーション

**SMART SNG**  
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

http://www.bizsat.jp



設計・製造・衛星通信のことなら  
エーティコミュニケーションズ株式会社  
TEL: 03-5772-9125

Communications k.k.